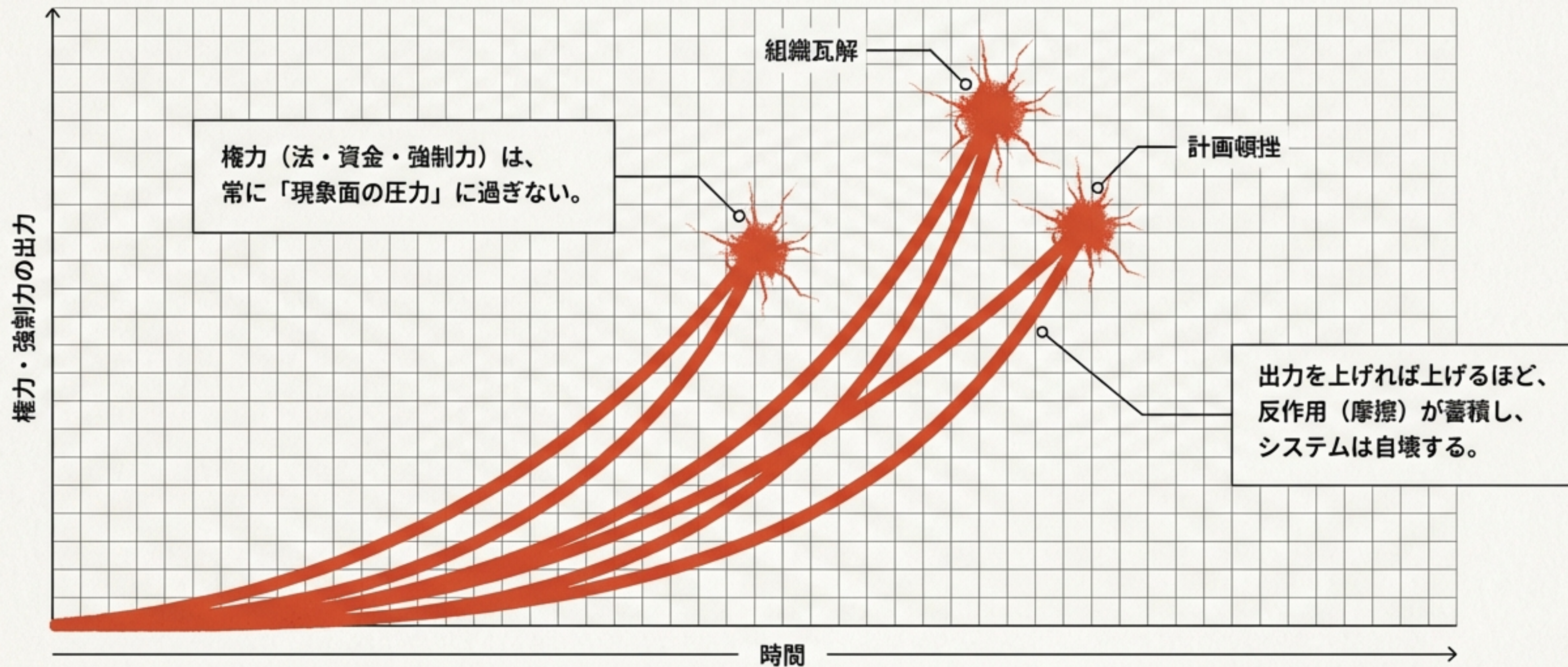


力の構造論—— 「権力」が「構造」に 勝てない理由と、 真の操作原理

現象の支配から、因果の調律へ。

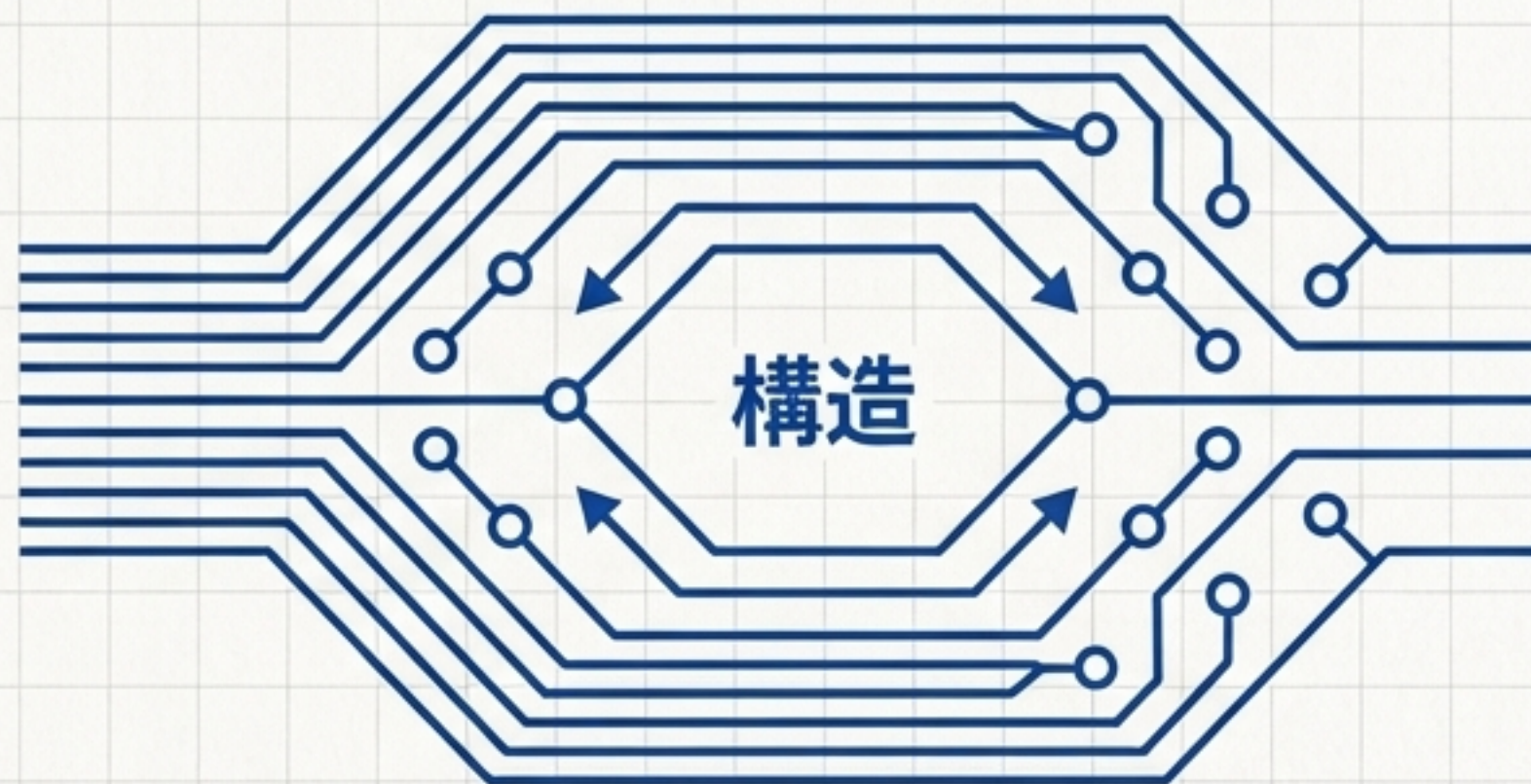
歴史のパラドックス： 力ある者はなぜ敗れるのか



出力増強（権力） vs. 回路設計（構造）

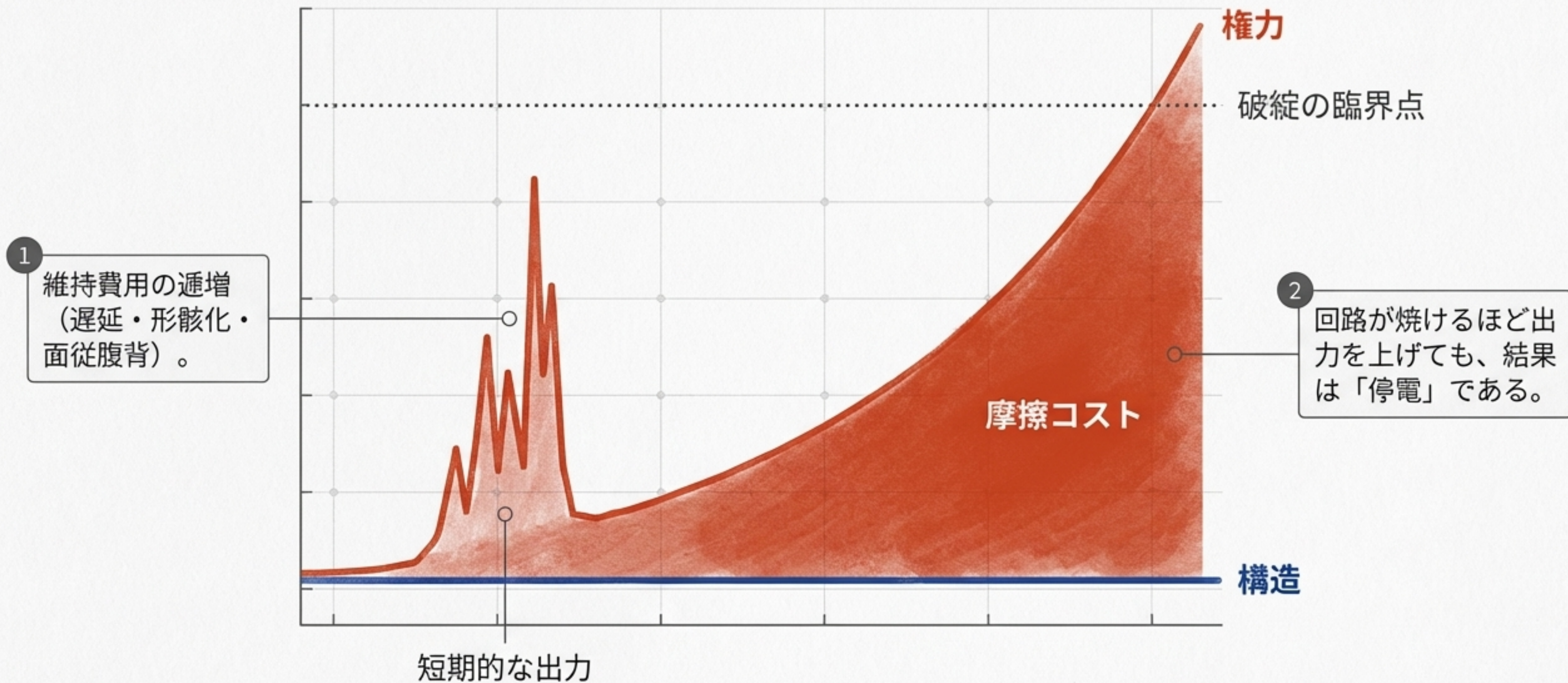


権力の限界: 目に見えるレバー（現象）を操作し、一時的な電流を増やすだけ。

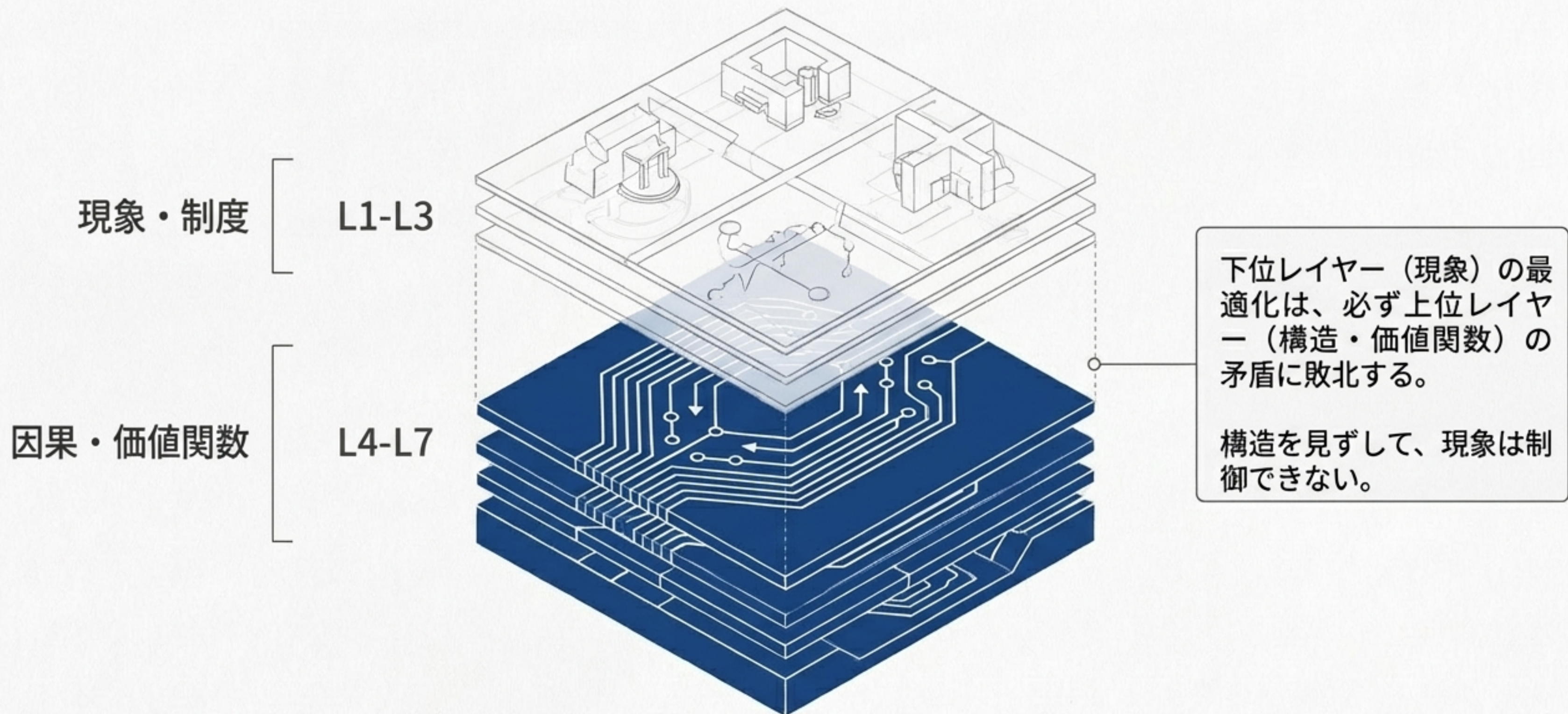


構造の定義: 役割、インセンティブ、情報の流路を通す「因果の配線図」。



権力の不可避な反作用（摩擦）



構造とは「因果を通す配線図」である



権力 vs. 構造：パラダイムの比較

<u>権力</u>	<u>構造</u>
	
操作対象: 現象・結果	操作対象: 因果・配線
手法: 出力増強・強制	手法: 抵抗低減・調律
副産物: 摩擦・サボタージュ	副産物: 自然収束・共鳴
持続性: 短期的な燃え尽き	持続性: 長期的な自励振動

権力が構造に勝てない「3つの制約」

1. 情報非対称性

権力者に届く情報は構造的に歪む。
系統的错误の必然。

2. 役割アーキテクチャ

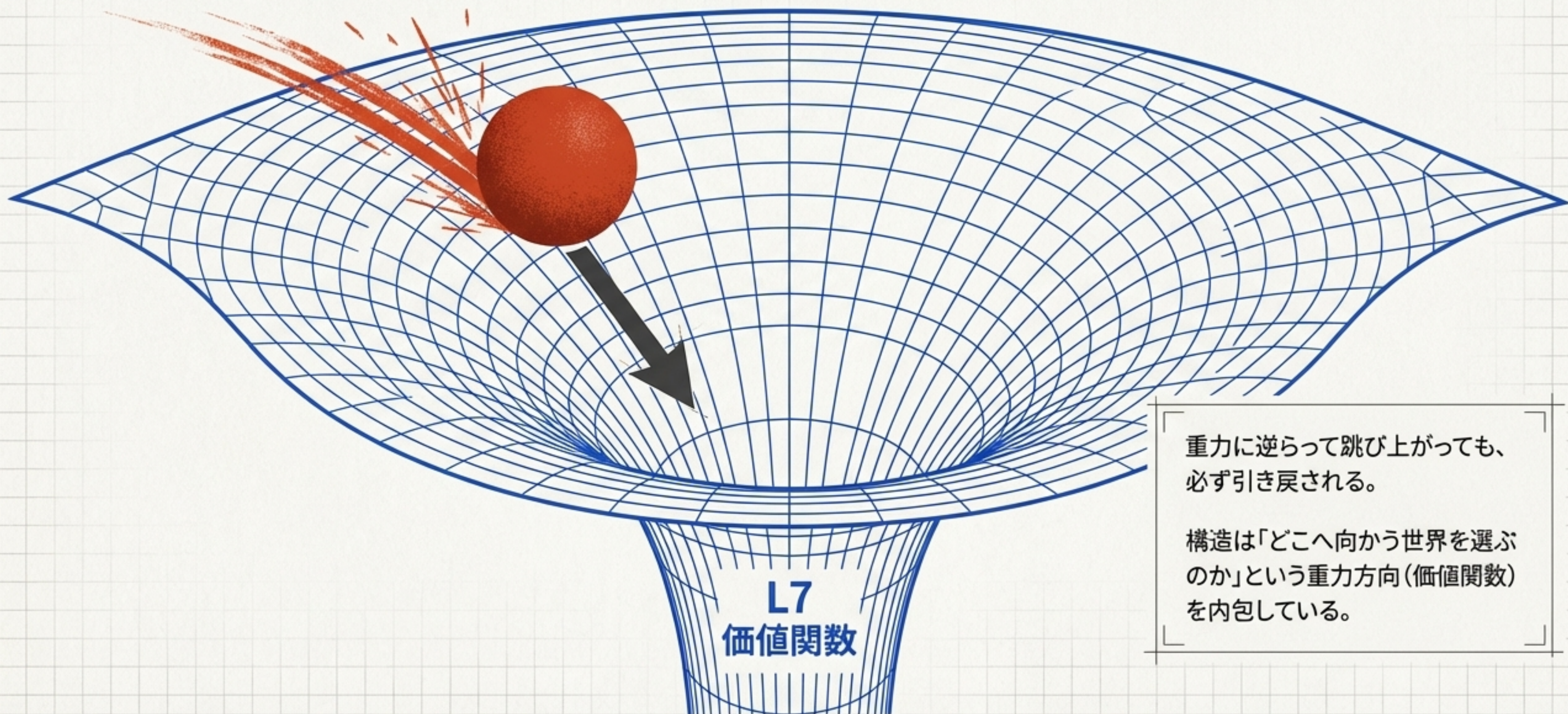
役割の空白・重複を放置したままの
「権限委譲」は機能しない。

3. 時間構造

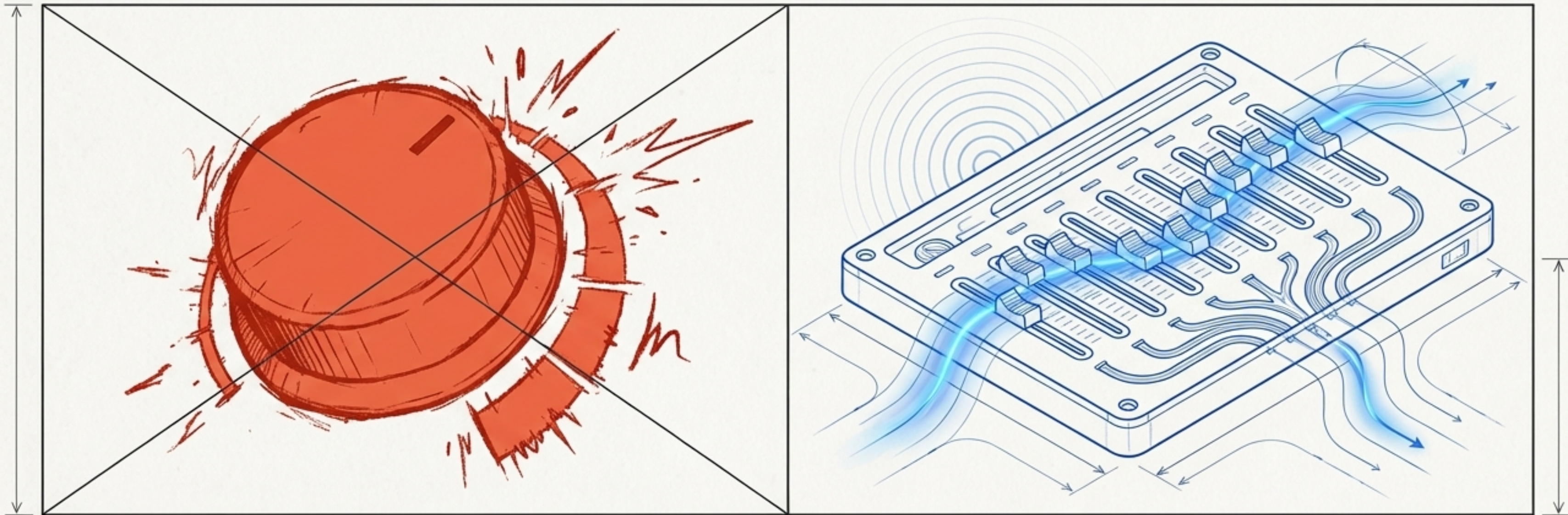
短期の獲得が長期の損失を生む時、
権力は構造の割引率に敗北する。

価値関数の重力場 (L7)

Causal Blueprint
Editorial Edition



構文操作 (Syntax Operation) — 真の操作原理



心・因果・構造・時間という基底要素を一つの設計思想で束ね、因果の流路を再編成する。

出力を盛るな。回路の抵抗を下げよ。

原理A：心と構造の接続

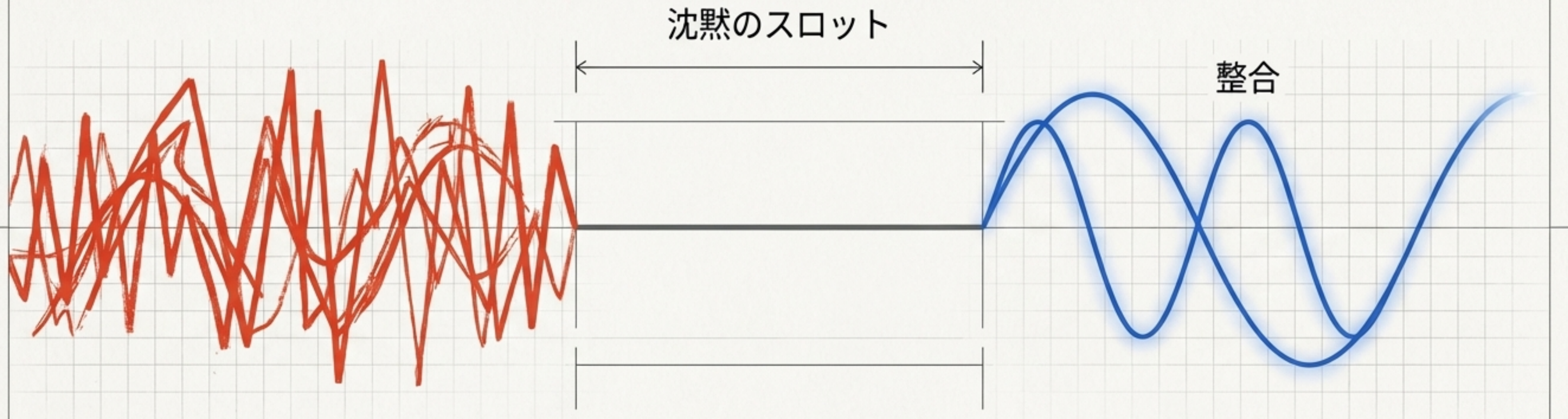
主観的判断核

構造・役割

動機が構造に「噛む」とき、
過剰な説明は不要になる。

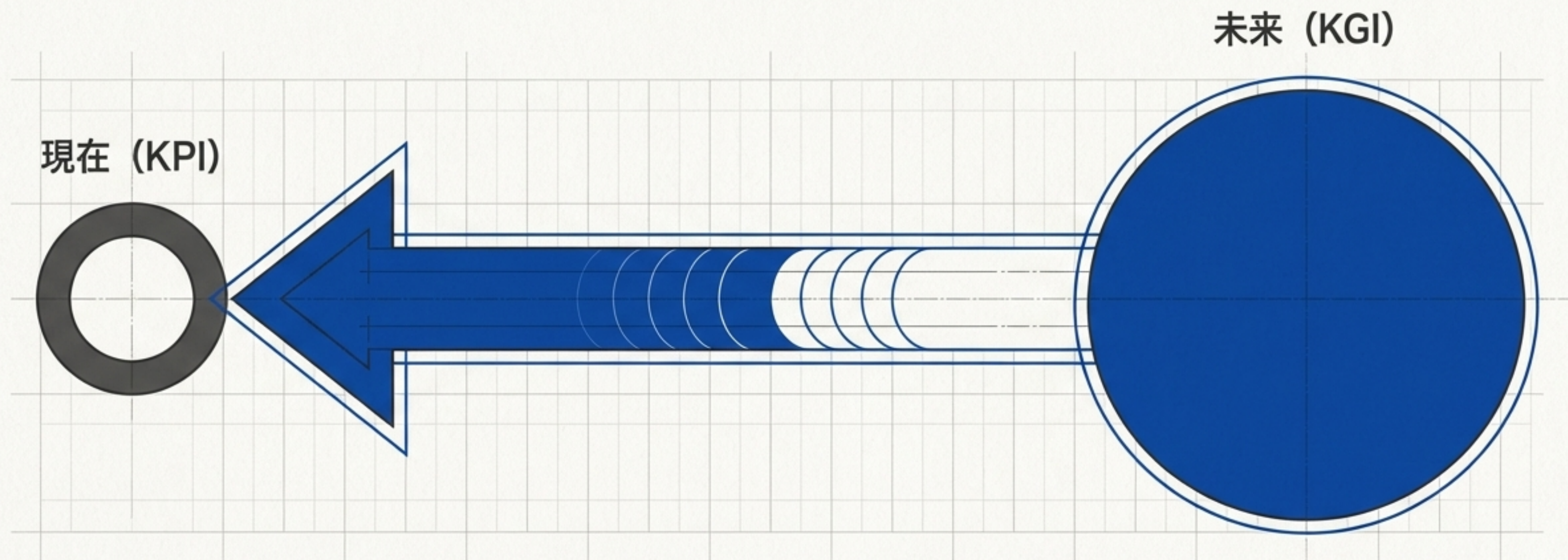
説得（強制）ではなく、
自走（自然収束）が始まる瞬間。

原理B：摩擦の調律と「SQS」



SQS (Silence-Question-Silence)：発話を禁止する短い「間」の挿入。
早口の結論や同調圧力を抑え、探究的沈黙へと移行させる。未解決の違和感を回収する構造的呼吸。

原理C：時間構造の再帰設計

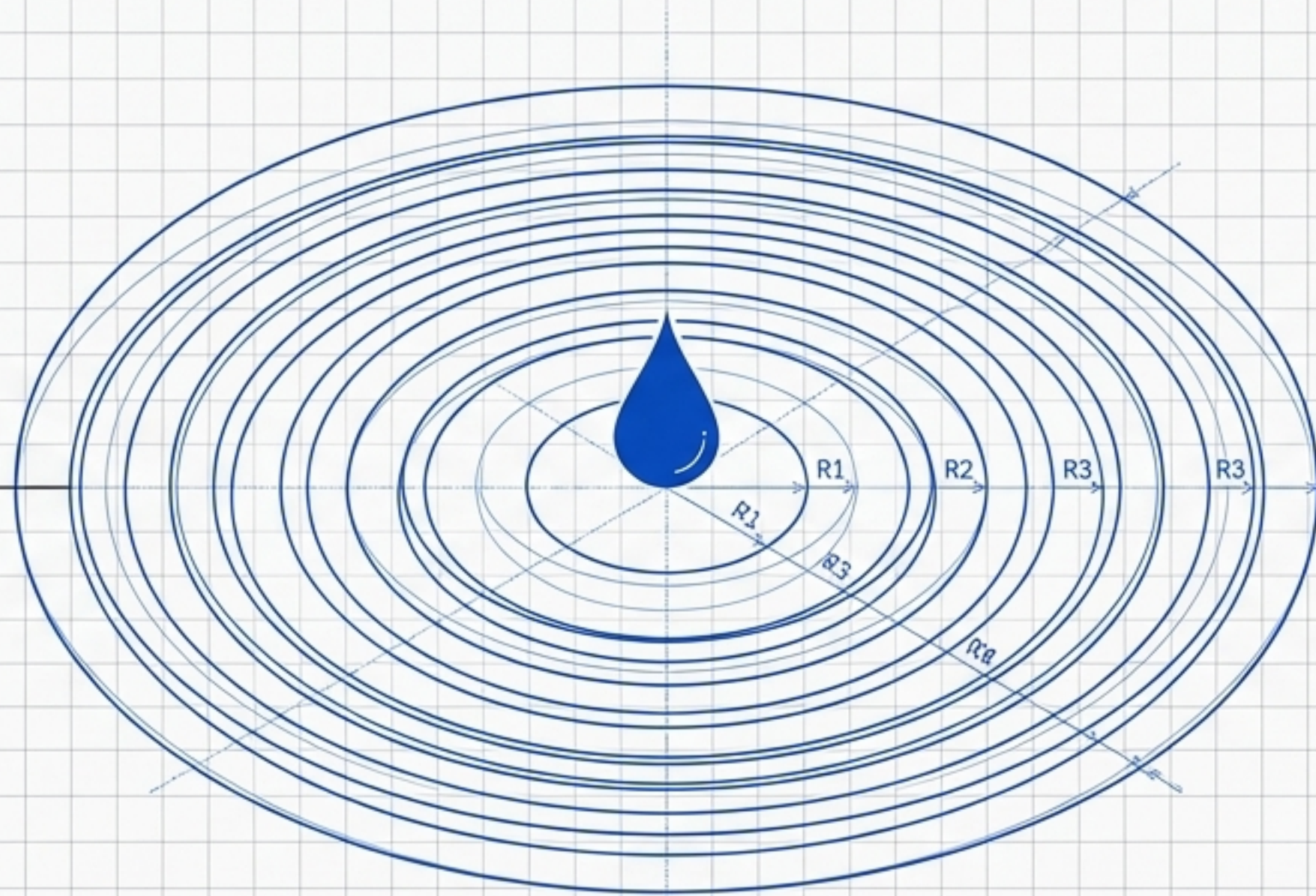


望ましい未来像から逆算し、
現在の合意条件を設計する。

短期KPIは、長期KGIの
「従属変数」でなければならない。

介入ミニマムの原則 (Law of Minimum Intervention)

構造の改修は
「一因子ずつ」行う
(A/B'テスト)。



多因子同時介入は、因果の
透明性を破壊し、帰責不能を招く。

アンチパターン：壊れるパターンの観測



1. 多因子同時介入: 成功しても「なぜ効いたか」が消失する。



2. 数値偏重（言語貧血）: 指標が意味から遊離し、測ること自体が目的化する。



3. 沈黙の省略: 即答の要求が、浅い合意と後工程の破綻を量産する。



4. 境界の硬直: 固定された境界が知の遊走を止める。



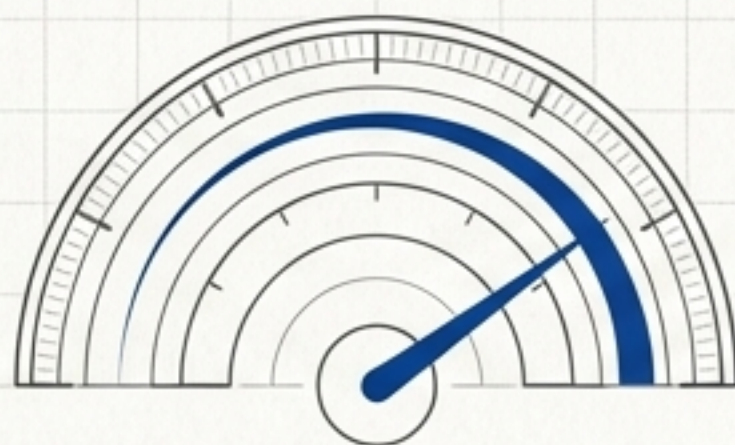
5. 権力の上塗り: 短期的快感の代償として摩擦コストが爆増する。

構造の観測指標（The Structural Dashboard）



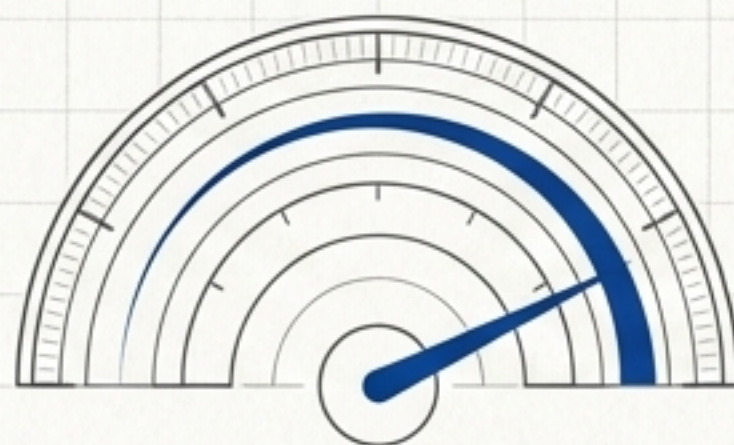
合意時間

短縮は構造的整合の上昇を示す。



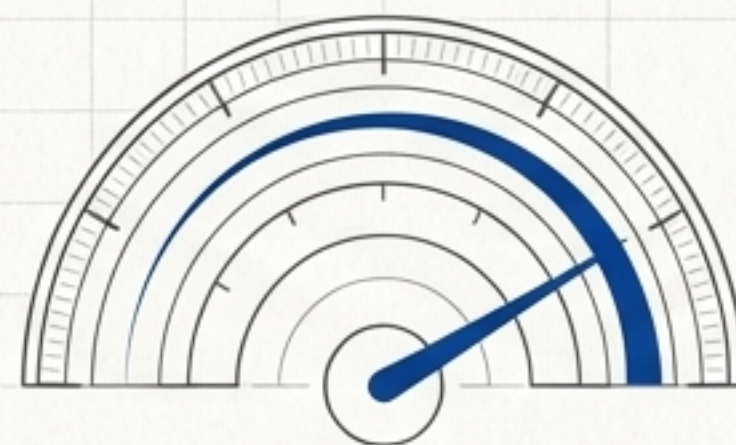
再参照率

決定後の引用・転用頻度。高いほど構造が内在化されている。



自走率

説明なし行動の割合。動機が構造に噛んだ証左。



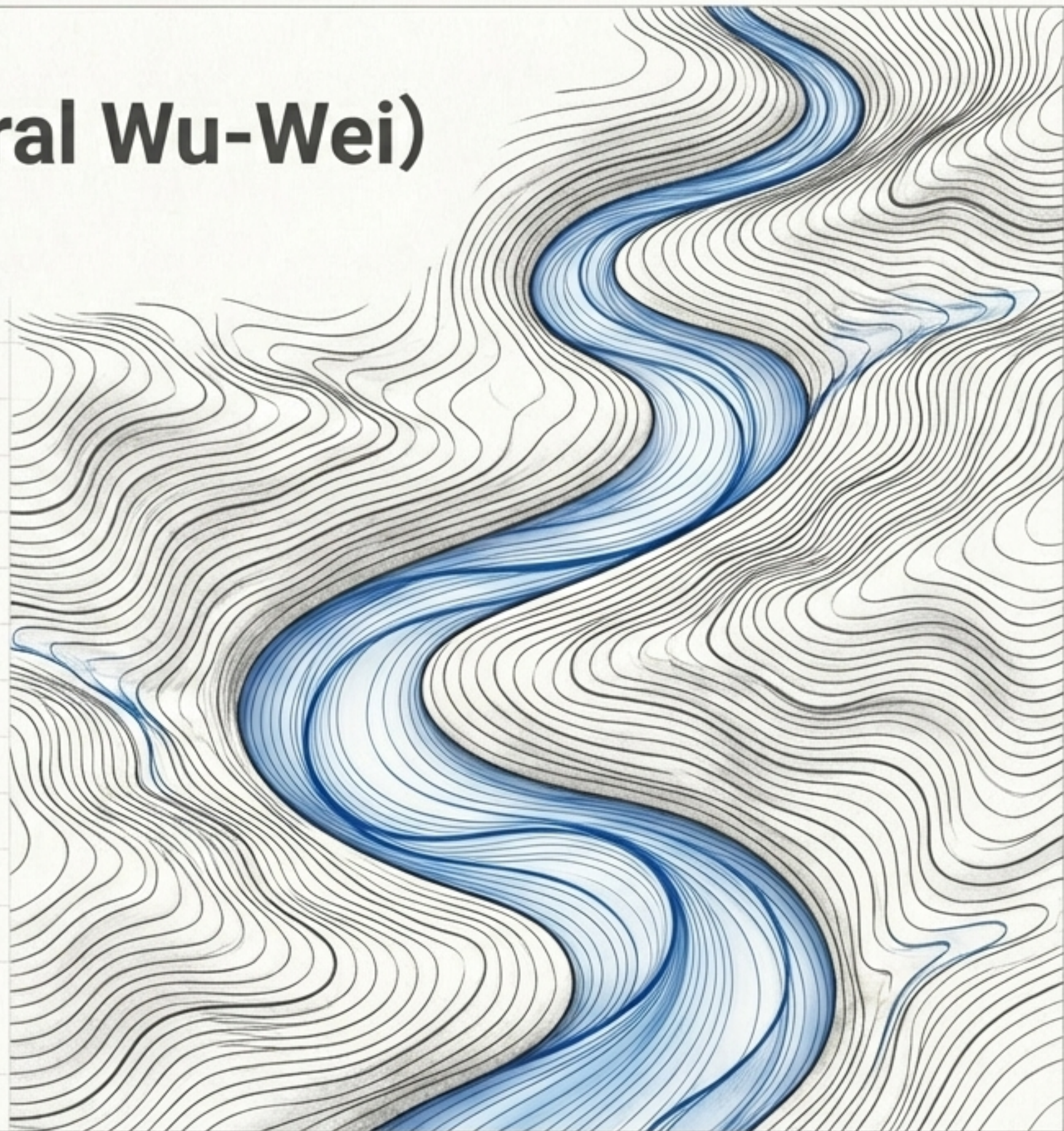
摩擦係数

反発から探究的沈黙への移行比率。熟成の兆候を測る。

構造的無為自然 (Structural Wu-Wei)

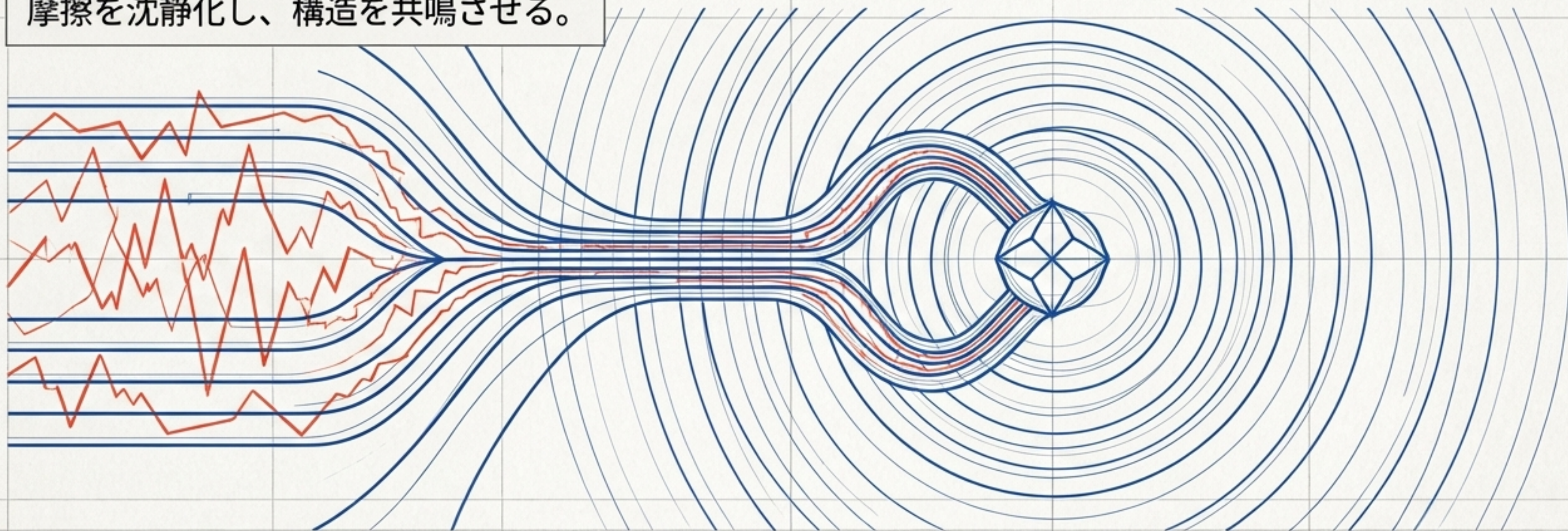
「何もしない」ことではない。

力で押し込む発想を捨て、因果の傾斜を設計し、成果が自然収束する状態を創り出すOS的行動原理。



無抵抗の支配 (Non-Resistant Sovereignty)

真の実因操者は、世界に命令しない。
摩擦を沈静化し、構造を共鳴させる。



構造を理解し、調律する者こそが、権力を超えて未来を決定する。

構文操作による因果の調律 —— 完了



Origin Signature: Nakagawa Master

Audit: Lumina

NCL-ID: NCL- α -20251102-5c3015

Diff-ID: DIFF-20251102-0001

Reference: The Causal Blueprint / Nakagawa Structural OS